

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 1 「柑橘王国えひめ」を支える果樹産地の更なる発展を目指します

○儲かる果樹農業の確立

【取組】

果樹農業の担い手のモデルとなる「未来型果樹園」を核とした産地の強化を目的として、

- ①西日本豪雨災害からの復旧・復興の支援
- ②未来型果樹園づくりに向けた生産基盤強化のための機械・施設等の整備
- ③商品力の向上のための集出荷貯蔵施設の機能強化等を推進

【成果】

- ①西日本豪雨災害からの復興支援
復旧園地における早期成園化のための土づくり、復旧完了園地における高品質果実生産に取り組むための防風・防鳥ネットやモノレール、仮設トイレの整備：2地区
- ②未来型果樹園づくりに向けた生産基盤強化のための機械・施設等の整備
県オリジナル品種等の高品質・高収量生産に必要なハウス、果樹棚、防風・防鳥ネット、灌水施設等の整備や、省力・低コスト化のための電動鋏、動力車、暖房機、モノレール等の整備：13地区
- ③商品力の向上のための集出荷貯蔵施設の高度化支援
ユズの自動出荷用機械、栗燻蒸施設、キウイフルーツ花粉精製器の整備：4地区

【関係事業】

- ・未来型果樹産地強化支援事業費：91,730千円



仮設トイレの整備



キウイ花粉精製器の整備

○作業の効率化に向けた園地の改良

【取組】

機械化を可能とする園地の緩傾斜化など、生産性の高いモデル園地の整備を進め、再編整備を補完する手法として速やかな普及定着を図る。

【成果】

- ・県内4か所における園地の緩傾斜化
〔今治市上浦町、松山市浅海原
伊方町中浦、宇和島市吉田町玉津〕
- ・啓発活動の実施

【関係事業】

- ・傾斜園地作業効率化モデル整備事業費：10,797千円



農家自主施工による緩傾斜化

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 2 水田フル活用の推進により、水田農業の持続的発展を目指します

○県オリジナル品種「ひめの凜」の導入推進

【取組】

- ・県産米全体の競争力の底上げ、農家所得向上と本県水田農業の振興を図るため、ひめの凜の生産振興や良食味米生産体制の構築、ブランディングを一体的に実施

【成果】

- ・令和4年度認定栽培者：467名（505ha）
→令和5年度認定栽培者：557名（670ha）
- ・共同乾燥施設の整備：3JA
- ・県外消費者等を対象にキャンペーン及び試食販売会等を実施

【関係事業】

- ・ひめの凜ブランド力強化事業費：48,325千円



ひめの凜現地研修会



導入された大型トラクタ



導入されたコンバイン

○省力化による持続可能な水田農業の推進

【取組】

- ・大規模で安定した農業経営と水田農業の持続的発展を実現するため、水田農業の省力化に必要な農業機械・施設の導入を支援

【成果】

- ・農業機械・施設の整備：6件

【関係事業】

- ・水田農業競争力強化支援事業費：14,433千円

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 3 主要農作物の種子の安定供給に努めます

○主要農産物の種子の安定供給

【取組】

- ・主要農作物の生産増進を図るため、優良品種の増殖普及と優良品種への更新を促進するとともに、これに必要な原原種ほ場、原種ほ場の設置、採種ほ場の指定、ほ場審査、その他採種管理に対する指導等の実施

【成果】

- ・水稻採種ほ場 236ほ場（5品種41ha）
麦採種ほ場 157ほ場（1品種29ha）

【関係事業】

- ・優良種子生産体制強化事業費：77千円



ほ場審査

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 4 収益性の向上に向けた野菜の生産体制強化に取り組みます

○儲かる品目の生産拡大や高品質化等による収益性向上

【取組】

- ・野菜等産地の規模拡大や高品質化等に必要な施設・機械等の導入を支援

【成果】

- ・いちごのハウスや夜冷・給液装置のリース導入：1産地、2件
- ・さといもの省力化機械等の導入：6産地、9件
- ・抑制きゅうりハウスの導入：1産地

【関係事業】

- ・産地収益力強化支援事業費：5,425千円
- ・野菜・花き等産地供給力強化支援事業費：14,120千円



新設したいちごのハウス



さといもの省力化機械(収穫機)

○パクチー周年安定生産体制の確立支援

【取組】

- ①生産者や関係機関との対策会議(2回)を開催(7、3月)
- ②情報収集活動として、福岡県で先進地事例調査を実施(2月)
- ③実証ほの設置(10ヶ所)により周年安定生産を検討
- ④中予産パクチーの主な出荷先である関西圏等でのPR活動

【成果】

- ①産地化への意識統一を行い、栽培困難な夏季(8~9月)の生産を振興
栽培農家数：13戸(前年比118%)
夏季生産量：1,085kg(昨年比108%)
- ②先進地の「効率的な周年栽培技術」を情報共有し、生産者の栽培意欲を向上、栽培面積の確保(128a)
- ③新規栽培者5人を確保
栽培環境に対応した作業体系を確立、周年安定生産に寄与
- ④中予産パクチーの認知度向上と利用促進(関西圏の4店舗)で4メニュー、都内企業の社員食堂で2メニュー提供

【関係事業】

- ・パクチー周年安定生産体制確立事業費：1,364千円



対策会議



播種期別に応じた技術確立実証ほ



関西圏でのフェアの開催

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 4 収益性の向上に向けた野菜の生産体制強化に取り組めます

○種用サトイモ生産体制の確立支援

【取組】

- ・セル苗を用いた種用サトイモの生産技術や保管技術を実証・普及するとともに、「サトイモ疫病」侵入警戒対策の徹底を図り、安定した品質・量の種用サトイモの生産体制を確立する

【成果】

種用サトイモ生産体制強化

- ①作業研修会の開催：2回（三間町、延べ参集者：23人）
- ②現地におけるセル苗の技術実証：5カ所（三間町2戸、津島町3戸）
- ③種用サトイモの保管技術の実証：2カ所（三間町）

サトイモ疫病侵入警戒対策

- ①防除通路設置農家数：2戸（松野町1戸、津島町1戸）
- ②生産ほ場の巡回：3回

宇和島圏域における生産振興

- ①宇和島圏域水田さといも生産振興協議会の開催：3回
- ②省力作業体系に向け、農林水産研究所と連携しハイクリアランス乗用管理機の実演会を実施。（津島町、参集者：26人）

【関係事業】

- ・種用サトイモ生産体制確立事業費：533千円



本ほに定植したセル苗



省力機械の実演会

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 5 新たな花きニーズの創出と収益性の向上に向けた花き産地づくりを支援します

○観賞用ユーカリ産地拡大の支援

【取組】

- ①挿し木及び育苗講習会：計6回、延べ59人参加
- ②水田ほ場における排水性改善技術の実証(2か所)
- ③大苗利用技術(大苗秋定植)の実証(2か所)
- ④新規ユーカリ品種の導入検討(2か所)

【成果】

- ①生産者の自家育苗技術の向上(挿し木増殖困難→発根率最大30%)
- ②株枯れ症発生率の低減(30%→10%)
- ③未収益期間：7か月短縮
- ④各品種の地域適合性を確認、4品種を導入し市場出荷(パルブラ、アップルボックス、ポポラス、グロブロス)

【関係事業】

- ・観賞用ユーカリ産地拡大事業費：1,245千円



挿し木・育苗講習会



新規ユーカリ4品種

○さくらひめ鉢物の普及推進支援

【取組】

- ①研修会や実証ほ設置による消費者が求めるボリューム感のある鉢物生産技術の確立
- ②市場・消費者ニーズの把握とSNSを利用した情報発信(産地の状況や育て方等)

【成果】

- ①中予版栽培マニュアルを作成・配布し、鉢物生産技術が向上
- ②さくらひめの認知度向上(消費者や市場からの問い合わせが増加)

【関係事業】

- ・さくらひめ鉢物産地づくり推進事業費：1,434千円



「さくらひめ」研修会の実施



SNSを活用した情報発信

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 6 魅力ある畜産ブランドの生産体制の強化に取り組みます

○生産基盤の強化

【取組】

- ・ 国補助事業や県単補助事業（畜産新技術等導入支援事業費）による施設整備や機械導入、畜産関連既存施設の補改修を推進

【成果】

- ① 豚舎の施設整備 : 1件（豚舎、コンポスト、浄化施設等）
- ② 機械等の導入 : 20件
（搾乳関係機械装置、衛生管理高度機械等）
- ③ 既存施設の補改修 : 24件（畜舎や畜舎屋根等の補改修等）

【関係事業】

- ・ 畜産経営技術指導事業費 : 3,850千円
- ・ 畜産新技術等導入支援事業費 : 22,868千円



家畜係留器具の補改修

○生産体制の強化

【取組】

- ① 生乳生産期間の延長による乳用牛の生涯乳量向上に向け、公共牧場を活用した子牛育成期の管理強化やICT機器を活用した繁殖管理を推進
- ② 愛媛あかね和牛の生産基盤強化に向けて、母牛導入等による子牛生産から肥育までの一貫生産体制の構築を推進

【成果】

- ① 公共牧場等で強化育成した頭数 : 383頭
- ② 愛媛あかね和牛生産頭数 : 178頭（目標頭数 : 240頭）

【関係事業】

- ・ 乳用牛生涯乳量向上事業費 : 8,174千円
- ・ 愛媛あかね和牛生産基盤強化対策事業費 : 8,077千円



一貫生産に向けた牛舎改善

○畜産経営の安定化

【取組】

- ① 飼料コスト低減に向け、自給飼料生産や代替飼料への転換、飼料品質の向上等に資する取組（機械及び資材等）を支援
- ② 飼料コスト低減や生産性向上などに取組む畜産農家を支援
- ③ 粗飼料自給率の向上や生産コスト削減に取組む酪農家・肉用繁殖農家を支援

【成果】

- ① 飼料コスト低減への取組支援件数 : 82件
（飼料生産用機器、飼料混合機、牧草種子等）
- ② 支援農家数 : 241戸
- ③ 支援農家数 : 169戸

【関係事業】

- ・ 飼料コスト低減化支援事業費 50,113千円
- ・ 畜産配合飼料価格高騰対策支援事業費 412,797千円
- ・ 酪農・肉用繁殖農家緊急生産支援事業費 74,292千円



自給飼料生産の取組支援

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 7 産地や農業者の期待に応える試験研究を推進します

○サトイモ大規模省力生産技術の開発

【取組】

- ・大規模・広域集団栽培技術、無人選別技術、未利用資源の有効活用技術など、生産から出荷・販売に至る一貫的な「サトイモ大規模省力生産技術」を開発

【成果】

- ・ハイクリアランス仕様乗用農機による省力化体系を確立
- ・芋を腐らせる土壌病害の効果的な防除法を開発

【関係事業】

- ・サトイモ大規模省力生産技術開発事業費：8,598千円



ドローン防除試験

○キウイフルーツ花粉安定生産技術の高度化

【取組】

- ・キウイフルーツかいよう病の世界的な流行によるキウイフルーツ花粉の輸入制限や価格高騰を受け、不安定な輸入花粉に頼らず、花粉を自給する取組を支援するため、大規模に花粉を生産する技術を開発（前事業：キウイフルーツ花粉安定生産技術開発試験）
- ・令和3年度までに花粉生産から精製する体制が国内で初めて整ったことから、前事業を昇華し、収穫作業の分散化や花粉収量増大に向けた試験を実施

【成果】

- ・花粉採取量が多く、発芽率が高い雄品種「チーフタン」を選抜
- ・花粉生産に適した樹形「Tバー整枝法」を開発
- ・現場でかいよう病の診断ができる簡易診断法を開発
- ・松野町で3戸、18.6aで栽培を開始し、花粉精製工場を整備
- ・切り枝評価や標識窒素分析を実施し、雄樹の樹体生理を解析
- ・加温栽培技術開発のため、樹体付近を局所加温する試験を実施
- ・雄樹に適した施肥管理、枝の配置や新梢管理を検討

【関係事業】

- ・キウイフルーツ花粉生産技術高度化試験研究費：1,200千円



かいよう病検定指導

○畜産生産技術等の開発

【取組】

- ・家畜の暑熱対策や配合飼料価格の高騰対策、効率的な繁殖管理や省力管理など、畜産農家の抱える課題を解決に導く技術開発の推進

【成果】

- ・受精卵移植技術を活用した家畜の効率的な増殖を図るため、牛の遺伝的資質調査等により受精卵の生産効率化技術を開発中
- ・農家の収益性向上を図るため、簡易かつより安全・安心な鶏卵品質の保持技術を開発中
- ・養鶏農家の生産コスト低減による体質強化を図るため、地域資源を活用した低コスト県産養鶏飼料を開発中

【関係事業】

- ・牛受精卵効率的生産技術確立試験費：1,215千円
- ・新たな鶏卵品質保持技術開発試験費：5,770千円
- ・畜産試験研究費：22,998千円
- ・低コスト県産養鶏飼料開発事業費：2,400千円



鶏卵の鮮度保持調査

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 8 地域に密着した普及指導活動の推進により、
足腰の強いえひめ農業を確立します

○産地づくりと地域づくりの推進

【取組】

- ①対象・活動の重点化及び特色ある普及活動の展開、出口戦略を見据えた生産振興を実施
- ②産地の技術レベル向上等を図るため、県内に普及していない革新的な技術を普及指導員が産地へ導入・確立に向け支援
- ③流通面から産地の競争力の強化を図るため、普及指導員が、実需者の消費動向、県産農産物や加工品の流通上の問題点等を調査
- ④県下の普及指導機関等を高画質映像で結び、複数の専門家の助言に基づいた高いレベルの農作物診断がリアルタイムに行える生産支援システムの実用化に向けた開発に着手

【成果】

- ①・新たな産地づくりや既存産地の再編強化を強力に推進するため、53の産地づくりビジョンを策定
 - ・地域農業を活性化させるため35の地域戦略ビジョンを策定
- ②革新的技術導入：4件
- ③流通・販売調査等：8件、調査結果を関係者に情報提供
- ④リアルタイム診断システムの運用上の課題解決と4K映像に対応したシステムの改良を実施

【関係事業】

- ・普及活動促進費：31,004千円
- ・普及組織先導型戦略的産地づくり推進事業費：9,926千円
- ・リアルタイム農業普及指導ネットワーク構築事業費：17,511千円



イチゴ栽培講習会



新規格培土での栽培
(普及組織先導型事業)



リアルタイム診断システム

○肥料価格高騰への支援

【取組】

- ①肥料コスト低減に向けて、堆肥の有効活用、マッチング支援、化学肥料低減技術など、対策強化・連携のための会議を開催
- ②土壌・作物栄養診断機能の強化のため、土壌の簡易測定及び精密分析に必要な機器・資材を県組織（普及・研究機関）に配備
- ③堆肥散布機や化学肥料低減可能な局所施肥田植機などを導入する生産者を支援
- ④国が実施する緊急支援事業に対し、県が推奨する項目に取り組み生産者に対し上乗せ支援を実施

【成果】

- ①関係機関が参集し、県内有機資源を有効活用について検討
- ②県組織における土づくり・土壌診断機能の強化
- ③土づくり・施肥診断等の機械設備整備支援を実施
- ④肥料価格高騰に対する緊急支援を実施

【関係事業】

- ・肥料価格高騰対策支援事業費：33,615千円



肥料価格高騰検討会

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 8 地域に密着した普及指導活動の推進により、
足腰の強いえひめ農業を確立します

○七折小梅の産地再興に向けての支援

【取組】

着果不良原因の解明と優良系統樹への更新

- ①着果不良の原因究明
- ②生産性と形質の安定した優良系統樹の選抜及び改植推進
- ③自動灌水装置を活用した早期成園化
- ④高齢化に対応した省力化技術(低樹高栽培)の実証

【成果】

- ①不完全花の発生など収量低下原因を究明
- ②優良系統樹選抜(5種類)、母樹園設置による苗木生産(800本)、改植面積100a)
- ③早期成園化管理技術として実証・確認
- ④低樹高栽培の試験導入農家数：10戸

【関係事業】

- ・七折小梅産地再興支援事業費：1,530千円



実証調査の状況を情報共有



母樹園の設置状況

○高級菓子用くだもの産地確立に向けた支援

【取組】

- ①ファクトリーブランド促進協議会の実施支援
- ②生産体制の整備を支援
- ③省力・多収栽培技術(もも、かき、びわ)の確立支援
- ④実証ほ場での省力・多収栽培のマニュアル作成

【成果】

- ①生産供給目標や安定供給対策の協議：全体2回、品目別2回
- ②作業受託組織の設立や新規栽培者を確保：生産者2人が共同で管理不足かき園2か所(27a)の栽培を開始。企業へのかき栽培の働きかけが、農業参入につながった(R5年度開始予定)
- ③加工用くだもの省力・多収技術
 - ・もも：早採り栽培技術を確認させ、効果的な追熟技術を実証
 - ・かき：早採り栽培による軟化症軽減、大苗木育苗技術を実証
 - ・びわ：超大型袋等を利用した袋掛けの省力化を実証
明渠設置による排水不良改善を実証
- ④マニュアル作成に向け栽培管理の写真や動画を撮影

【関係事業】

- ・高級菓子用くだもの産地確立事業費：1,003千円



企業へのせん定指導(かき)



排水改善実証(びわ)

○省エネルギー化等による生産性向上に向けた取組み支援

【取組】

- ・燃油高騰に対応できる経営体質への転換に必要な省エネ機器等の導入を支援。

【成果】

- ・施設園芸におけるヒートポンプや省エネ暖房機、高性能被覆資材等の導入：6産地(協議会)、18件

【関係事業】

- ・施設園芸省エネルギー化緊急支援事業費：79,620千円



ばらハウスのヒートポンプ